

# ウランバートル市における障害者の社会参加促進プロジェクト (JICA/DPUB)

## ニュースレター第31号

### モンゴル初、障害平等研修トレーナー誕生へ(2019.10.31)



トレーナー研修の参加者3人

障害平等研修 (DET) トレーナーとは、どんな人でしょうか？DETファシリテーターとは何が違うのでしょうか？ファシリテーターとはDETを実施できる人、トレーナーはそのファシリテーターを育成する先生のことです。DETは40か国に500名のファシリテーターがいますが、トレーナーは世界で6名のみ。日本に2名、マレーシアに4名います。現在、DPUBではモンゴル初のDETトレーナー育成に向けて、研修を行っています。受講しているのは、ファシリテーターの中で最も活躍している3名。6週間で全60時間の過密なプログラムに参加しています。「このプログラムが終わったら、次は12月にファシリテーター養成講座を私達3人が実施します。今まで日本人の専門家が行ってきた養成講座。少し心配ですが、しっかり準備をして臨みます！」宿題や演習が続いて疲れ気味の様子ですが、目標達成に向けて頑張りましょう。

### 福祉サービスの制度と実践 (2019.11.14)



講師の東田専門家

10月23日に障害勉強会第4シリーズの第2回目「日本の障害福祉サービス②」を開催しました。はじめに、モンゴルにおける福祉サービスの現状について、参加者の意見を聴きました。制度や条項はあっても実施が伴っていないものも多い、との声がありました。実態を捉えることが重要であると感じました。次に、日本の障害分野における社会福祉サービスについてお話ししました。ポイントとして、制度発展の歴史において、目の前の当事者との草の根の活動から実践がつくられ制度化に至った事例も多いこと、つまり実践や実施を

積み重ねることの重要性を指摘しました。その一方で、日本の社会福祉制度においても現在も課題が多く、制度・施策の改善のためには当事者の声が必要であることをお伝えしました。いつもより参加人数が少なめな会になったのは残念でしたが、ぜひ多くの方にご参加いただくと幸いです。次回開催日は別途お知らせいたします。

JICA DPUBの

FACEBOOKページに

「いいね」をお願いします。



<https://www.facebook.com/jicadpub/>

おかげさまで、今ではページの「いいね」が**5864件**に達し、より多くの方に情報を発信できるようになりました。これからも、楽しんでいただけるような投稿を目指して頑張ります。引き続き、宜しくお願い致します。

### 障害勉強会・専門コース (2019.11.13)

障害勉強会・専門コースもいよいよ9回目。今回も12名の精鋭たちが参加してくれました。今回の発表でとても勉強になったのは、スマヤフーさんが用意してくれた「モンゴル障害者運動」でした。2003年に視覚障害者のハンガーストライキ、2005年に社会福祉法に対する抗議活動など、モンゴルでも社会運動としての障害者の活動が2000年代前半に実施されていたことがよくわかりました。このプレゼンを準備するために、数多くの障害者リーダーに話を聞きに行ってくれたそうです。このような努力から情報が収集され、障害者運動の歴史がまとめれば、勉強会の成果として非常に大きなものだと感じました。スマヤフーさん、ありがとうございました。



スマヤフーさん (左)

### 人権委員会での講義 (2019.11.15)

人権委員会で障害者の権利と物理アクセシビリティについて講義させていただきました。当日は30名近くの方に参加頂き、またかっこいいパネルまで用意頂いたので、プレゼンにも気合が入りました。物理アクセスが悪いことは、ウランバートルにいる人ならみんな知っていると思いますが、その改善方法はなかなか知られていませんし、なぜこんなに急なスロープが多いのかもご存知ない方が多いと思います。そこで、物理アクセスを改善することで、高齢者や妊婦さんも含めすべての人が住みやすい街になること



パネルと記念写真

と、建築管理制度を改善しないと急なスロープは今後もなくなることを、障害者の権利として講義させていただきました。なかなか盛会だった、と自負しています。

### 日本財団への就職と申請書



千葉チーフアドバイザー

2007年9月、無事、日本財団に就職することができました。所属は・国際協力グループです。ここでアジア途上国の障害者支援事業を担当しました。JICAでは事業の実施を担当しましたが、日本財団では助成金の交付を担当します。つまり、良い事業にお金をつける仕事です。これはこれで非常に勉強になりました。様々な申請書を見ることができるので、各団体が助成金を得るためにどんな事業を提案してくるのかとても興味深く、知的好奇心をそそられました。でも、まとまりのない申請書が多いことにも気づきました。良いプランでも不明瞭な文書とか、そもそも変なプランだから、申請書も読みづらいとか・・・。ただ気がついたのは、良い申請書はとても読みやすく、かつ勉強になるという点です。良い申請書を読んだあとは、自分でも頭がよくなった気がします。この経験が後の助成金申請に非常に役立ちました。

### DPUB連絡先

**Office:** Government Building – 2, United Nation’s Street – 5, Ministry of Labor and Social Protection Ulaanbaatar – 15160, Mongolia

**Facebook:** <https://www.facebook.com/jicadpub>

**Website:** <https://www.jica.go.jp/project/mongolia/015/index.html>

**E-mail:** [dpub.jica@gmail.com](mailto:dpub.jica@gmail.com)